

# 青島ごとさくらねこTNRプロジェクト

## 実施報告書 H30



doubutukikin since 1988

主催 : 公益財団法人どうぶつ基金

申請者 : 青島猫を見守る会

協力団体 : 愛媛県大洲市

大洲の環境をよくする連絡協議会

会場 : 青島コミュニティーセンター

期間 : 平成30年10月2日～4日

## 愛媛県の現状

平成29年度環境省調べのデータによると、愛媛県は年間平均1,715頭の猫を殺処分しており、猫の殺処分数は、全国ワースト5位に位置する。さらに、犬の殺処分数も含めた犬猫の合計殺処分数では、長崎県、福島県に次いで全国ワースト3位となる。

自治体名	猫									
	引取数				処分数					
	飼い主から		所有者不明		返還数	返還数のうち幼齢個体	譲渡数	譲渡数のうち幼齢個体	殺処分数	殺処分数のうち幼齢個体
	成熟個体	幼齢個体	成熟個体	幼齢個体						
愛媛県 (松山市を除く)	43	59	484	1229	7	4	96	56	1702	1220
松山市	25	0	2	25	10	3	39	17	13	8
合計	68	59	486	1254	17	7	135	73	1715	1228

## 瀬戸内の島、青島

瀬戸内海にある青島（愛媛県大洲市）は、長浜港から北方13.5km沖合に位置する、周囲4.2kmの小さな島。青島へは、長浜港から定期船「あおしま」で約35分ほど。長浜港と青島港を1日に2往復するこの定期船が、青島と長浜を結ぶ唯一の交通手段である。実際に青島で生活している島民は約10名で、平均年齢は75歳を超えている。

一方、青島の猫たちについては、インターネット等を介して世界中に情報が広まっており、青島は猫の多い「猫島」の一つとして広く知られている。きっかけは、2013年に著名な写真家が島に住む猫を撮影に訪れ、その様子がテレビで紹介されたことであった。その後、青島は「猫の楽園」として国内外のメディアでたびたび取り上げられるようになり、注目を集めたことで沢山の来訪者があり、島民の生活環境も変わってきている。

## 青島の状況（申請書より）

申請時点で、青島には150頭以上の地域猫が生活していると推定された。以前から猫の数は多かったが、ここ数年の来訪者の増加もあって急激に増加していると考えられていた。

青島では、島民有志により平成26年10月に「青島猫を見守る会」を発足し、猫の世話や青島の環境美化に努めてきた。しかしながら、猫の繁殖力を考えると、このままでは猫が増え続けることになり、島民や猫の生活環境の悪化が懸念されていた。人口増加が望めない一方で、このまま放っておくと猫たちは増え続け、生活が成り立たなくなっていく可能性がある。島民の平均年齢が75歳を超える中、「青島猫を見守る会」での活動も厳しい状況となりつつあった。

島民と猫たちがより良い環境で生活できるよう、そして、猫だけの島にならないよう、全頭への不妊手術を実施することを決定し、どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業 出張手術」に申請を行った。



## 過去の不妊手術

「青島猫を見守る会」は、これ以上猫を増やさないう、愛媛県獣医師会の支援を受け、野良猫（地域猫）対策支援事業にも取り組み、現在までに3回で合計約50頭の猫に不妊手術を実施した実績を有する。

これに加えて、動物愛護団体により、10頭の猫が不妊手術を受けた他、ノミ蔓延時の駆除薬投与及び抗生剤入り目薬投与など、島外のボランティアによる支援も受けている。

## 観光客への呼びかけ

観光客の増加に対応して、大洲市は、青島と長浜を結ぶ唯一の交通手段である定期船「あおしま」の利用者に向けて、猫への餌やりや私有地への立ち入り禁止など、青島でのルールについて呼びかける文書を作成し、市のホームページ上で公開している。

### お客さまへのお願い

今日は、定期船「あおしま」をご利用いただき誠にありがとうございます。さて、本船は、「ネコの島」「ネコの楽園」としてメディアで紹介されてから数多くのお客様にご利用いただいておりますが、本来は青島島民の足として、また物資等の輸送手段としての役目を担って運航しております。つきましては、青島島民の生活を守るため、右の「遵守事項」について必ず守っていただきますようお願いいたします。

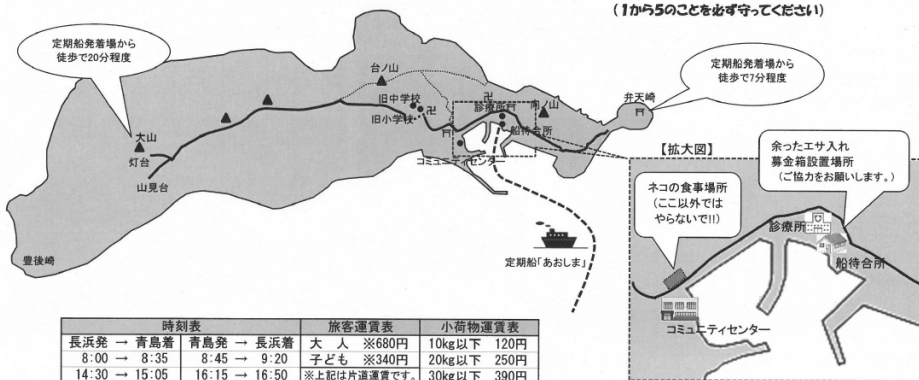
青島海運株式会社  
(0893)52-2700  
大洲市長浜支所地域振興課  
(0893)52-1111



### 遵守事項（必ずお読みください）

- 1 ネコへの食事は、コミュニティセンター横にある所定の場所です。与えてください。（定期船発着場付近は、島民の大切な生活空間となっております。ネコへの食事は禁止しています。）
- 2 定期船発着場付近は、物資等の搬出入場所です。立ち止まらぬようにしてください。
- 3 住宅散地内は私有地です。無断で立ち入らぬようにしてください。
- 4 ゴミは必ず持ち帰ってください。
- 5 エサをやりますと猫の体調が悪くなります。やり過ぎないようにしてください。（あまったエサは、コミュニティセンター前と定期船待合所内にあるエサ入れにお入れください。）
- 6 猫のための募金箱を待合所内に設置しています。ご協力をお願いいたします。

（1から5のことを必ず守ってください）



時刻表		旅客運賃表		小荷物運賃表	
長浜発	→ 青島着	青島発	→ 長浜着	大人	※680円
8:00	→ 8:35	8:45	→ 9:20	子ども	※340円
14:30	→ 15:05	16:15	→ 16:50		
				10kg以下	120円
				20kg以下	250円
				30kg以下	390円

※上記は片道運賃です。

手術会場には、島内の青島コミュニティーセンター2階の大会議室を使用した。



手術前の大会議室



手術会場としての設営

手術前および手術後の猫の保管場所には、青島共同作業保管施設を使用した。



捕獲開始前は、事前に輸送した捕獲器などを保管



捕獲した猫を手術まで保管

## 捕獲器・ケージ

青島の猫は人馴れしている場合が多いことから、捕獲器は少数で済ませ、通常のケージの他に、ワイヤーネットと結束バンドを利用して当日製作した簡易ケージを使用した。当初用意した捕獲器およびケージの数量は以下のとおり。

種類	数
捕獲器（どうぶつ基金貸し出し）	20台
ケージ（どうぶつ基金貸し出し）	40台
簡易ケージ（どうぶつ基金費用負担）	50台
<b>合計</b>	<b>110台</b>

上記に加え、捕獲開始後、猫の数が想定より多いことを受け、追加で20台弱の簡易ケージを作成した。簡易ケージの材料の調達と製作はボランティアが行い、費用はどうぶつ基金が負担した。

## 簡易ケージの利点

簡易ケージは、100円ショップのワイヤーネット（1台につき長方形4枚と正方形2枚の合計6枚）と結束バンドで製作され、材料代は1台600～700円と、市販のケージに比べて非常に安価である。組み立ても簡単で、大変軽く、畳んだ状態ならかさばらないため、現地へ輸送する際の送料も安く抑えることができる。

さらに、結束バンドで固定しているため隙間ができず、猫が脱走できない頑丈なつくりとなっている。

特にケージの利用が一時的な一斉TNRには大変適している。



10月2日 (火)	
7:30	集合、点呼 (長浜港)
8:00	長浜港を出発
8:35	青島港に到着
8:45	朝礼、役割分担の確認
9:00	捕獲、会場設営
15:05	獣医師2名到着
15:30	手術済み猫のみワクチン・ノミ駆除
	目印をつけてリリース
16:00	保管場所の施錠
16:15	青島港を出発
16:50	長浜港に帰着

10月3日 (水)	
7:30	集合、点呼 (長浜港)
8:00	長浜港を出発
8:35	青島港に到着
8:45	朝礼、役割分担の確認
9:00	手術開始 (捕獲班は捕獲を継続)
21:30	手術終了、会場一部片付け
22:00	撤収

10月4日 (木)	
5:00	会場片付け
6:00	リリース、捕獲器洗浄消毒
	保管場所片付け
8:45	青島港を出発
9:20	長浜港に帰着、終礼

## スケジュールの変更

当初、青島での出張手術は9月3日からの実施を予定していたが、台風接近のため延期となった。延期後の日程は10/1～10/5で決定されたが、再度、台風の接近に伴い、1日短縮して10/2～10/5の日程で実施することとなった。

10月2日に捕獲を行った後、3日・4日の2日間で手術を行い、5日に手術後の猫を放す計画であったが、手術を開始した10月3日の午後、台風の接近により翌4日の午後の定期船が運航できない可能性が出てきた。これを受け、この日は手術会場のある施設内に宿泊することとして夜まで手術を続け、翌朝に猫を放して朝の定期船で離島するスケジュールに変更した。参加した獣医師並びにどうぶつ基金から参加した職員及びボランティアの全員に加え、島外から参加したボランティア及び大洲市職員の半数ほどが島に残り、夜まで手術に対応した。これにより、2日間かけて実施する予定であった手術を、10月3日の1日間で実施し、捕獲した全頭への一斉手術を完了することができた。

## 協働人数

日程	どうぶつ基金	ボランティア	青島猫を見守る会	大洲市	合計
10月2日 (火)	スタッフ3名 ボランティア2名 獣医師2名	11名	2名	4名	24名
10月3日 (水)	スタッフ3名 ボランティア2名 獣医師3名	9名	2名	4名	23名
10月4日 (木)	スタッフ3名 ボランティア2名 獣医師3名	6名	0名	2名	16名

## 大洲市による助成

大洲市の平成30年度青島地域猫対策事業補助金を活用し、獣医師やどうぶつ基金職員の宿泊費、およびボランティアを含む参加者の船代として、272,040円が大洲市から申請団体「青島猫を見守る会」に交付された。

大洲市

平成30年度青島地域猫対策事業補助金

272,040円

青島猫を見守る会

獣医師やどうぶつ基金職員の宿泊費、  
およびボランティアを含む参加者の船代

272,040円

どうぶつ基金

\* 上記の補助に加え、一斉手術会場で使用するブルーシートやペットシート等の備品を大洲市が購入し、準備した。

### 青島地域猫対策事業

大洲市予算事業名称: 畜犬登録事業及び野犬等対策経費

旅費	43,520 円	市職員渡航代(事前協議及び今後の対応協議含む)
消耗品費	43,488 円	不妊去勢手術準備物(エルモアタオル4ロール 20袋 DCMブルーシート 9枚 ほか13点)
通信運搬費	13,720 円	不妊去勢手術準備物運送料
補助金	272,040 円	青島地域猫対策事業補助金(青島猫を見守る会→どうぶつ基金)
合計	372,768 円	



## 手術数

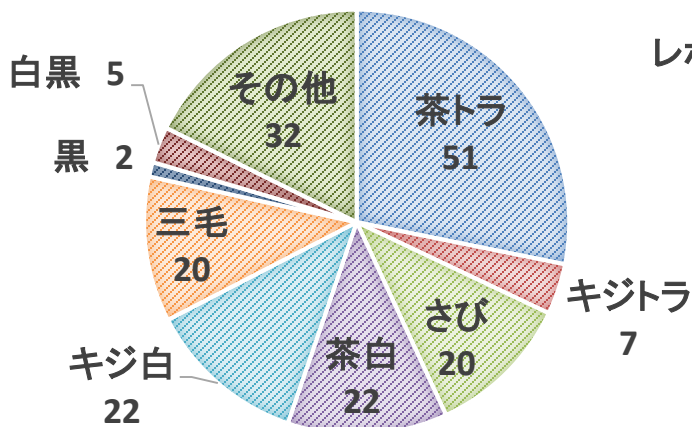
処置日	手術実施:172		手術実施なし:39		合計
	オス	メス	ワクチン・レボリューションのみ	手術不可	
10月3日	97	75	38	1	211

※手術不可の1頭は、体が小さすぎて手術不可であった子猫である。

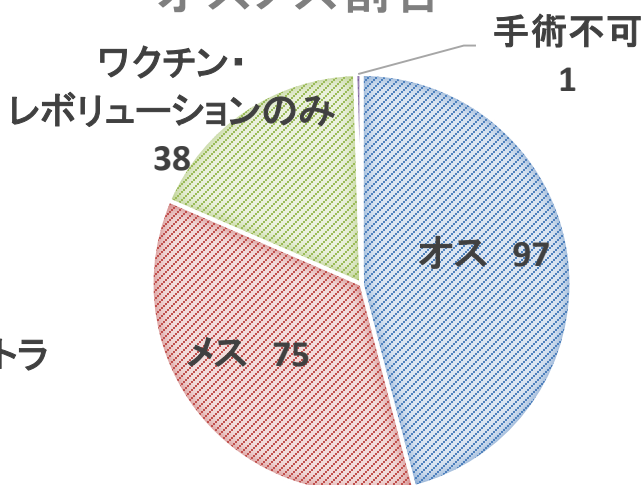
## 処置内容

不妊去勢手術、耳先のV字カット（さくら耳）、ワクチン  
ノミ・ダニ・回虫の駆除薬（レボリューション）、補液等

### 毛色割合



### オスメス割合



※毛色は、手術会場に運び込まれた181頭について記録。残りの30頭はワクチン及びレボリューションのみ接種して放したため、毛色を記録していない。

※オスメスは、手術を行った172頭について記録。ワクチン及びレボリューションのみ接種して放した30頭、手術室搬入後に手術済みであることが判明した8頭、及び小さすぎて手術不可であった子猫1頭の合計39頭については、オスメスの区別を記録していない。

## 保護

体が小さすぎて手術不可であった子猫1頭を含む子猫7頭を、参加したボランティア団体ら（愛媛県内で活動）が保護し島外へ連れ帰り、里親探しを行うこととなった。



## 参加ボランティア

松山市のNPO「あにまる365-人と動物の架け橋-」、宇和島市の「保護猫シェルター NEKOSUKI」、伊予市の「伊予ねこ協議会＊いよにゃん」、松山市の「ひかりと希望」、Facebook ページ「青島・島民15人猫100匹以上の島」管理人など、愛媛県内の保護団体や個人活動家の方総勢11名に、ボランティアとして当日の青島での活動に参加頂いた。この他にも、県内のボランティアの方々に、簡易ケージの材料調達や製作などの後方支援をして頂いた。



## 大洲市役所

大洲市からは、市職員の方4名に当日の活動に参加頂き、会場設営やケージの組み立て、猫の運搬、ケージの洗浄・消毒などの作業を行って頂いた。さらに、どうぶつ基金職員や獣医師の空港・宿泊場所・長浜港間の送迎を行って頂いた他、スケジュール変更により10月3日に手術会場に宿泊することが決定した際には、夕飯にする食料の調達と午後の定期船での輸送、就寝用非常用備蓄毛布の運び込みなどに対応頂いた。



## 大洲市議会

過去5年にわたって青島での出張手術の実現に尽力頂いてきた、大洲市議会の弓達議員が当日の活動にも参加くださった。



## 男木島からのボランティア参加

平成27年6月に実施した「男木島ごとさくらねこTNRプロジェクト」の共催団体として事業を推進した男木地区コミュニティ協議会の木場会長が、青島での一斉手術に参加した。

同じ瀬戸内海に位置し、共に「猫の島」として数年前に写真家に紹介されたことで有名になり、多くの観光客が訪れる男木島と青島には、共通点も多い。規模は違えど、青島も男木島も人口の減少と高齢化に直面しており、猫の増加、健康状態や生活環境の悪化という課題に対して、全頭の不妊手術を実施することを選択した。



## 広がる「島ごとさくらねこTNR」

どうぶつ基金は、香川県の男木島、志々島、鹿児島県の竹島など、多くの猫が生活する「猫島」で、今回青島で行ったのと同様の全頭一斉手術「島ごとさくらねこTNR」事業を行ってきた。いずれも、地元行政や自治会、ないし地元の保護団体などのボランティアの主導で実現したものである。こうした広がりを見るに、離島という環境下では、住民と猫が共に快適に共存していくための手段として、不妊手術が定着しつつあると言える。

## 「青島猫を支援する会」による継続支援

今回の一斉手術にも参加した愛媛県内の動物愛護団体や個人活動家らにより、8月28日に「青島猫を支援する会」が設立された。同会は、青島の猫が今後再び増えることなく、それぞれが一代限りの命を快適に全うできるよう、青島の猫たちの終生養育のための支援を行うものである。

同会は「青島猫を見守る会」紙本会長とも連携し、全国からの支援物資や寄付金の受け皿となり、その管理を行う。今回の一斉手術で手術を終えられなかった猫の手術や、青島の猫の病気やけがの治療、また、島内での生育が困難と思われる猫の引き取り養育などを行う予定である。

10月の一斉手術終了後の調査で、青島には20～30頭の未手術の猫が残っていると推測されているが、これらの猫については、「青島猫を支援する会」に所属する「保護猫シェルター-NEKOSUKI」や「あにまる365-人と動物の架け橋-」など愛媛県各地のボランティアらが、大洲市や愛媛県獣医師会等と連携し、責任を以て手術を行う計画である。本報告書作成時点で、6匹（オス5匹、メス1匹）への不妊手術とワクチン等接種が実施されたことを確認している。



一斉手術に参加した愛媛県内のボランティアの皆様



山口獣医師長（執刀医）



足立獣医師（執刀医）



齊藤獣医師（執刀医ボランティア参加）

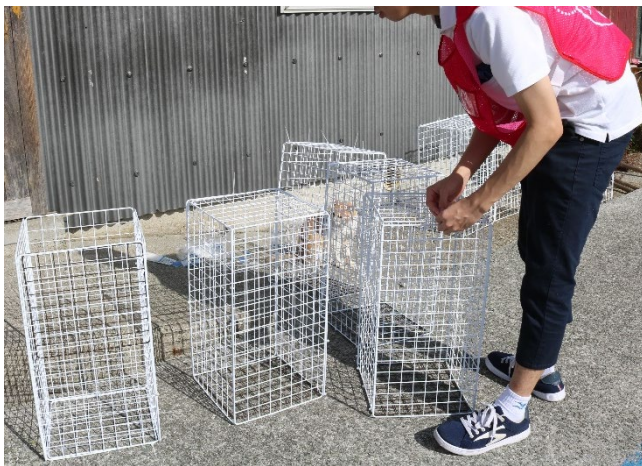
どうぶつ基金の獣医師2名に加え、協力病院の院長であり、これまでもどうぶつ基金の数多くの出張手術に参加頂いた獣医師1名に、ボランティア執刀医として参加頂いた。



朝礼（長浜港集合時）



青島到着後、ボランティアにビブス配布



簡易ケージの組み立て



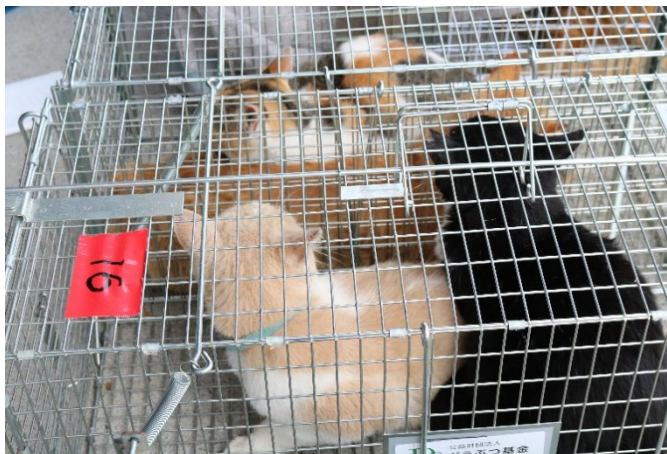
猫の捕獲 人馴れした猫は簡易ケージへ



猫の捕獲  
警戒心の強い猫は捕獲器に餌でおびき寄せる



猫を入れたケージを保管場所に並べる



頭数が予想より大幅に多くケージが不足したため、一部ケージを2頭ずつに入れ替え



捕獲した猫に与える餌の準備



既に手術済みであった猫にワクチンとノミ駆除薬を投与



ワクチン・ノミ駆除薬投与済みの猫にペンで印をつけて放す  
(翌日再度捕獲しないように)



青島での一斉手術への注目度は高く、新聞社やテレビ局の取材班が多数現地入りした。

どうぶつ基金の佐上理事長、申請団体「青島猫を見守る会」の紙本会長をはじめとする関係者が随時取材に対応した。





最初に猫に麻酔を打つ



手術前にさくら耳カット



手術前にお腹の毛を刈る（雌猫の場合）



3人の獣医師が同時に手術



手術を見守る「青島猫を見守る会」紙本会長



観光客の見学も受け入れた



手術後には補液などを投与



随時手術室に猫を運び込む



猫はそれぞれタグに情報を記入して管理



手術後にデータを記録していく



手術後の猫を保管場所に戻す



当日のスケジュール変更を受け、活動は夜まで継続



朝、目覚めた猫たちを放す



放した猫たちに餌を与える



ケージを洗浄・消毒



青島がいつもの景色に戻った



握手をする「青島猫を見守る会」紙本会長と  
どうぶつ基金佐上理事長



紙本会長に見送られながら離島



青島猫を見守る会  
会長 紙本 直子

感無量です。本当に来てくれるだろうか、船が出るだろうか、と気になって、前の日は眠れませんでした。このような大掛かりなことをして頂いて、本当に手を合わせています。70年近く生きていてこれほど感激したのは、孫が生まれた時くらいです。

手術後は猫のけんかの声も聞こえませんが、餌の取り合いもなく、手術のおかげかはわかりませんが、猫がおだやかになったように感じます。

避妊去勢をしてもらったので、これからは猫が増えることはありません。年を取った猫が亡くなる時には、目につくところにいけば埋葬しますが、猫が元気な間は、今まで通りの生活を猫と一緒にするだけです。

この度は大変なお仕事で、皆さんがんばってくださいました。ありがとうございました。





ボランティア

保護猫シェルター-NEKOSUKI

佐々木 一恵

住民はあと6人なので、どうなるのか想像がつかないのですが、島民がいなくなって船が出なくなる時が来ても、もしそれが30頭や40頭ならボランティアで分けて引き取って助けられますが、100頭や200頭は難しいので、猫の数を減らすために不妊手術をしてくださいとお願いしてきました。

まだ個人宅の猫が残っていると、スケジュール変更で全頭できなかつたので、あとは島民の方と相談しながら、協力してくださる大洲の病院の方と一緒に全頭に手術をして、確実に増えないようにできるようにがんばっていきたいです。

青島に人がいなくなる時に全頭を引き上げて、最後まで見てあげられたらいいなとずっと思っています。





獣医師 足立 萌美



どうぶつ基金が運営する「あまみのさくらねこ病院」の足立です。今回、青島の一斉TNR手術で急遽奄美大島から駆け付けました。

急なスケジュール変更はありましたが、朝から晩まで、みんなが一丸となって終わることができたので、結果的には良かったかなと思います。青島の猫は野良猫で、手術後のケアができない子もいるので、最低限の負担だけで済ませるように努力しました。

今回の活動は、とてもいい経験になりました。もちろん大変でしたが、猫のお世話をしている島の方が「オス猫に子猫が食べられるのがつらい」とおっしゃっていて、今回手術が実現したことについて「本当にありがとうございます」と言ってもらえて、それを聞いた瞬間に「頑張ろう」と思えました。

無事に全頭の手術が終わり、嬉しく思います。今後、猫たちも幸せに暮らせると思いますので、皆様温かく見守ってあげてください。



大洲市長 二宮隆久

## 青島一斉TNRに関して

どうぶつ基金の皆様をはじめ、獣医師やボランティアの皆様方のご尽力により、青島の地域猫の一斉不妊・去勢手術を実施していただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

海が荒れるとすぐに船が欠航する離島のため、非常に短い時間で172頭の手術を終えるには、大変なご苦勞があったものと思います。

これからは、住民とさくらねこが共存し、安心して暮らしていける島となることを願っています。

本当にありがとうございました。

## 告知チラシ

定期船及び待合室（掲示用）

# おねがい

ニャ〜♪

青島では、増加した猫の適正飼育と環境改善のため、不妊去勢手術を実施することとなりました。

つきましては、下記の期間中は、猫を目的とした観光はご遠慮頂きますようお願い致します。

記

### 期間

**平成30年10月1日～5日まで**

ご理解とご協力をお願いしますニャ〜！



事業実施団体名：青島猫を見守る会

事業実施協力機関：公益財団法人 どうぶつ基金

お問合わせ先

大洲市 市民生活課（0893）24-1710

長浜支所 地域振興課（0893）52-1111

## 大洲市ホームページ 告知（9月28日）



音声読みあげ 文字の大きさ 拡大 標準 背景色を変える 白 黒 青

はじめの方へ Foreign language おおずサービス 携帯サイト サイトマップ

◎全て〇ページ〇PDF

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [ごみ・衛生・動物](#) > [動物・ペット](#) > 青島で暮らす猫の全頭不妊去勢手術の実施について(お願い)

青島で暮らす猫の全頭不妊去勢手術の実施について(お願い)

掲載日：2018年9月28日更

青島で暮らす猫の全頭不妊去勢手術の実施について(お願い)

青島では、増加した猫の適正飼育と環境改善などを目的に島民総意のもと、全頭不妊去勢手術を下記のとおり実施することとなりました。

ついては、下記の期間、猫を目的とした観光はご遠慮頂きますよう、ご理解とご協力をお願いします。

制限期間

平成30年10月2日(火曜日)～平成30年10月5日(金曜日)まで 【天候により変更となる場合も有】



## 産経ニュース (8月21日)



障害者雇用水増し 27機関で3460人 最多に

山岳遭難救助隊長に聞く、安全登山の5つのポイント/政府広報 [PR]  
台湾東部旅行/自然が輝く絶景、レジャースポット、食の魅力 [PR]

人口わずか9人、猫なんと210頭！ 瀬戸内の猫島「青島」で全頭に無料で出張TNR不妊手術を行います。公益財団法人どうぶつ基金



公益財団法人どうぶつ基金  
猫の幸否としてyoutubeやテレビで世界的に有名になった愛媛県青島で公益財団法人「どうぶつ基金」(兵庫県)は島の猫全てに無料で出張不妊手術を行います。ぜひ取材をお願いします。

殺処分ゼロを目指して全国で7万頭の無料不妊手術を行う公益財団法人どうぶつ基金が、9月5、6日、世界的に有名な猫島、愛媛県の青島で、さくらねこTNR無料不妊手術を行います。青島の人口は9人(8月現在)、平均年齢も75歳以上と高いため、会

は昨年7月、将来的な世話が難しくなることを理由にすべての猫の不妊去勢手術を求めています。

## @niftyニュース (8月28日)



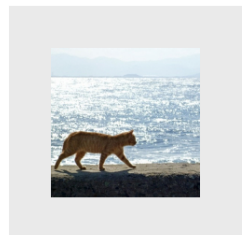
「猫の島」青島で全210匹の猫に不妊・去勢手術実施へ 実施期間避けて来島呼びかけ

- 記事まとめ
- 「猫の島」として有名な愛媛県大洲市・青島で全210匹の猫に不妊去勢手術が実施される
  - 島の人口は9人で、島民3人が猫の世話をしているが将来的に難しくなるためだとう
  - 実施する9月3〜7日は関係者の乗船が優先され猫にも会えないため期間外の観光を呼びかけ

「猫の島」青島、全210匹の猫に不妊・去勢手術実施 猫捕獲のため「観光客の方は実施期間を避けてご来島ください」

動物の殺処分ゼロを目指す公益財団法人どうぶつ基金は9月5〜6日、愛媛県大洲市・青島に出張し「さくらねこTNR無料不妊手術」を行う。TNRとは飼い主のいない猫に対し、捕獲し(Trap)、不妊去勢手術を行い(Neuter)、元の場所に戻す(Return)ということ。

青島は「猫の島」として有名で、推定210匹の猫がおり、国内外問わず観光客が猫見物に訪れる。島の人口は今年8月現在9人で、平均年齢は75歳以上。「青島猫を見守る会」の島民3人が世話をしているが、将来的に世話が難しくなるため昨年7月には同市にすべての猫に不妊去勢手術をすることを求めている。



「猫の島」青島、全210匹の猫に不妊・去勢手術実施 猫捕獲のため「観光客の方は実施期間を避けてご来島ください」の画像

## サーチナ (10月1日)

日本の「猫島」で実施されたある行動から、中国  
社会が学ぶべきこと=中国メディア

Tweet  
2016年10月01日 11時12分 サーチナ

中国のネット上ではしばしば日本のことがネコ文化が盛んな国として紹介される。その中で、現地住民と多くのネコとが共存する「猫島」が取り上げられるのだが、中国メディア・東方網は28日、愛媛県にある「猫島」による取り組みについて、中国社会も学ぶ点があると伝えた。

記事は、「日本で有名な『猫島』として知られる愛媛県大洲市の青島で、増え過ぎたネコのさらなる増加を防ぐため、公益財団法人どうぶつ基金が島のネコに対して避妊手術を実施することを発表した」と紹介。これは野良ネコの数をコントロールし、生態バランスを崩さないための良い措置であると説明した。

そのうえで、中国では一部の地域において野良ネコの数が増えており、人間たちがエサを与えているほか、民家にコソソリ入って食べ物や家畜を捕食する状況が発生していると、経済的な損害のみならず、野良ネコが人畜に対する病原菌を媒介する恐れもあるため、社会の不安定を招く要因の一つになっていると指摘した。

また、「一部の心ある人たちは、野良ネコを憐れんで自ら飼うことを選ぶ。しかし、野良ネコの繁殖速度は非常に速く、到底飼い入れるだけでは野良ネコを減らすことは不可能だ」とし、現状では野良ネコの数をコントロールできる唯一の実行可能な方法が避妊手術であり、これ以上良い方法は存在しないと伝えている。

青島に生息するネコに対する全頭避妊については、人間とペットが共存していくうえでの大きな課題を提起している。ペットたちはあくまでも人間のパートナーであり、人間の都合で好きなように扱える「モノ」ではないということに気をつけなければならぬ。どうしたら人間とペットが互いに快適に、幸せに生きていけるかについての模索は、今後も続くことだろう。(編集担当:今関忠馬) (イメージ写真提供:123RF)



中国メディアは「日本で有名な『猫島』として知られる愛媛県大洲市の青島で、増え過ぎたネコのさらなる増加を防ぐため、公益財団法人どうぶつ基金が島のネコに対して避妊手術を実施することを発表した」と紹介した。(イメージ写真提供:123RF)

## 愛媛新聞 (10月4日)

青島ネコ全頭  
不妊去勢開始

大洲

ネコが多い島として有名な大洲市の青島の住民でつくる「青島猫を見守る会」は3日、公益財団法人「どうぶつ基金」(兵庫県)や市の支援を受け、島のネコを対象にした不妊・去勢手術をした。約170匹を手術する計画。

市市民生活課によると、青島の島民10人(9月末現在)に対し、ネコは市推定で210匹以上(3日時点)。住民の間では増えたネコの近親交配や感染症への懸念のほか、高齢化によ

り将来的に世話が難しくなることなどから、会が昨年7月、手術に向けた支援を市に要望した。市は獣医師の渡航・宿泊費用など約36万円を負担する予定。

2日に獣医師や基金、市の関係者ら約20人が島に渡り、ネコの捕獲を開始。手術は3日午前から同市長浜町青島の市青島コミュニティセンターで行った。手術は2日間行う計画だったが、4日の定期船最終便が悪天候のため欠航する恐れがあり、3日で終わらせる方針に変更した。

(本橋隆太)



産経ニュース (10月12日)

広大 慰安婦問題 全国魚市場&魚河岸まつり

山岳遭難救助隊長にきく！冬山登山 最低限の心がけ／政府広報 PR

フェルメール、エッシャー 話題沸騰の展覧会の公式図録を販売中 PR

人口6人、猫200頭以上！瀬戸内の猫島「青島」全頭に無料で不妊手術を行いました。

2018.10.12 01:17

PRTIMES



公益財団法人どうぶつ基金

ネコが多い島として有名な愛媛県大洲市の青島で、公益財団法人「どうぶつ基金」(兵庫県)は島のネコを172頭に無料で不妊・去勢手術をしました。



10月3日、台風24号と25号の狭間を縫うようにして、猫の楽園として世界的に有名になった愛媛県大洲市の青島で、不妊手術とワクチン投与、ノミダニ駆除を行いました。住民6人に対し、ネコは210匹以上。高齢化により将来的に世話が難しくなることなどから、無料不妊手術の要請があり実現しました。

テレビ愛媛

EBCプライムニュース

10月15日

18:18頃～放映

(8分程度)



Sakura Neko  
TNR

FNN PRIME (10月19日)

FNN PRIME 特選 番組表 最新ニュース



**このままでは限界!愛媛の世界的な観光地「ネコの楽園」で何が?島民が下したある“決断”【愛媛発】**

フテレビ番組 © 2018年10月19日 金曜午後5:00

**3-LINE SUMMARY**

- 外国人観光客も多く訪れる「ネコの楽園」で不妊手術
- 島民9人全員が高齢者…過疎化も進む中での“決断”
- 1日に172匹を不妊手術…島民の思いは?

島民9人に対しネコ100匹以上…「ネコの楽園」で不妊手術

毎日新聞 (10月27日)

MAINICHI IN-SIGHT アイサイト 過疎の島の210匹



社会やニュースの話題を写真と「アイサイト」で探してみます。土曜夕刊掲載です。

「猫の楽園」といわれる愛媛県大洲市の青島「フェリー」が、猫を求めてやって来る猫だばば。片耳が小ぶりのカマドねこ。不妊手術済みの猫だばばを示す。

青島の人口は10人で平均年齢76.6歳。実際は島にほとんどいない人がいるという。対して猫は推定で210匹以上。島民は将来の世話を懸念し、近親交配の懸念などを理由に手術を決めた。市は公務員法人「アイサイト」を10月1日創設。不妊手術を2猫を除く1匹に無料にする。

「猫の楽園」は、猫を飼育する島民の女性(8)は話す。「自分たちがつらくなると猫を飼育して放り出すというのをやめたい。今、猫の楽園を猫11種(オシロイ)」。

写真・文 久保玲  
イラスト 松本

愛媛CATVたうんチャンネル・西瀬戸ネットワーク

ねこワン 2018年11月号



愛媛の猫の島「青島」172頭が一斉TNRで（不妊去勢手術）さくらねこに！ねこワン2018年11月号





初日の準備段階から100頭の手術を目標に掲げて捕獲作業を行っていたが、想定  
 1.5倍以上の猫がいることが判明。獣医師3名を配置したので、手術の対応をスムーズ  
 に行うことが出来た。最終的に172頭の実施となり、成果は十分にあったと思う。どうぶつ  
 基金と県下のボランティアの方の準備と捕獲など役割分担がなされていたのが良かった。  
 手術後も観光客の数は減っていないと感じる。ただ、島民の中には、徐々に猫の数が少  
 なくなると寂しくなると言われる。増えすぎた猫の適正な飼育管理が必要となっている上で  
 行った事業であり、今後においては、飼い猫と地域猫（野良）との関係が図られることを  
 願っている。  
 (報告書より抜粋)



捕獲して



不妊手術をしてサクラ耳カット



元の場所に戻す

今回実現した地元行政による宿泊費の負担は、どうぶつ基金の長い出張手術の歴史の中でも初めてのことで、大洲市が今回の一斉手術の実現に並々ならぬ思い入れをもって取り組んでくださったことがわかります。全国的に殺処分ゼロへの機運が高まり、行政との協働事例は増加していますが、このような形で直接的な支援を頂くことは大変画期的で、今回の事業は、今後の協働のあり方に一つの道筋を示したと言えます。



また、いつもながら、活動の中心にはボランティアの皆様の多大なる貢献がありました。急なスケジュール変更や想定を大きく上回る猫の頭数にも関わらず、実質2日間で211頭の捕獲と172頭の手術を終えることができたのは、獣医師が最大限手術に集中できるように、効率よく周辺作業に対応くださった経験豊富なボランティアの皆様のおかげです。

世界的に有名な青島で一斉不妊手術が実施され、島のほとんどの猫がさくらねこに生まれ変わったことは、今後のTNR普及拡大への大きな一歩となるでしょう。しかしながら、さくらねこTNR活動には継続が不可欠です。青島の猫全頭が不妊手術を受け、さらにその状態を維持していくため、青島の猫たちの今後と、地元の皆様の引き続きの取り組みを見守っていきます。



どうぶつ基金の「島ごとさくらねこTNR」は広がりを見せ、今回は、過去に一斉手術を実施した男木島からのボランティア参加も実現しました。

このような貴重なつながりを活かし、離島に限らず、猫に関連する課題を抱える全ての地域で不妊手術が広まっていくことを目指して、今後も活動を継続していきたいと思ひます。





公益財団法人動物福祉基金  
青島猫を見守る会  
愛媛県大洲市  
大洲の環境をよくする連絡協議会